リーマンショック後の企業の知財活動に関する

アンケート調査

１．本調査は、独立行政法人経済産業研究所が株式会社リサーチワークスに委託して実施しているものです。

２．回答内容は統計目的以外には一切使用されません。調査結果は統計的に処理し、集計値が公開されますが、個票データは一切外部に公表致しません。

３．ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）にて平成 22 年 6 月 2 日（水）までにご投函下さい。

４．ご回答いただいた企業には、後日、集計結果の概要を経済産業研究所よりフィードバックさせていただきますので、資料送付をご希望の方はご連絡先を以下にご記入ください。なお、資料の送付はメールを予定しています。

貴　社　名		
記　入　者	ご氏名：	TEL：
	部署：	お役職：
	E-mail:	

５．設問の内容について、ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせ下さい。

【業務委託先・問い合わせ先】
株式会社　リサーチワークス
〒101-0063　東京都千代田区神田淡路町 2-21　淡路町広瀬ビル 3F
＜ 担 当 ＞　柴田、小寺
＜E-mail＞　research@researchworks.co.jp
＜ 電 話 ＞　03-6279-5021
＜ ＦＡＸ ＞　03-6279-5024

【調査主体】
独立行政法人　経済産業研究所（RIETI）
〒100-8901　東京都千代田区霞が関 1-3-1　経済産業省別館 11 階
＜ 担 当 ＞　片桐、新田
＜E-mail＞　rsc-tk@rieti.go.jp
＜ ＵＲＬ ＞　http://www.rieti.go.jp/

問１．貴社の 2009 年度における特許出願件数、審査請求件数および保有特許件数は 2 年前（2007 年度）と比較してどのように変化しましたか。該当する番号に○をお付け下さい。

	非常に減少（10%以上）	やや減少（1%以上 10%未満）	ほぼ不変（±1%未満）	やや増加（1%以上 10%未満）	非常に増加（10%以上）
国内特許出願件数	1	2	3	4	5
審査請求件数	1	2	3	4	5
国際出願(PCT)件数	1	2	3	4	5
海外出願件数					
うち米国	1	2	3	4	5
うち欧州	1	2	3	4	5
うち中国	1	2	3	4	5
うちその他地域	1	2	3	4	5
保有特許件数（国内）	1	2	3	4	5
保有特許件数（海外）	1	2	3	4	5

※ 海外出願には、PCT に基づく国際出願、パリ条約に基づく外国出願および各国特許庁への直接出願を含めてお考え下さい。

問２．問１で国内出願件数が減少したとお答えになった方（1 又は 2 に○をお付けになった方）にお聞きします。貴社の国内特許出願が減少した理由を下記の選択肢よりすべて選び、該当する番号に○をお付け下さい。

1. 研究開発費が減少したため
2. （研究開発費は不変だが）出願可能な技術成果が少なくなったため
3. 分社化等の事業の統廃合により出願する必要がなくなったため
4. 業績悪化により知財活動費が減少したため
5. 先行調査等の強化により質の高い特許を目指し、出願の厳選を図ったため
6. ノルマ制を廃止し、企業戦略上必要なもののみを特許出願するようにしたため
7. 海外出願を重視し、その予算を確保するため
8. 事業の優位性確保の観点から、自社技術の権利化よりもノウハウとして秘匿することを重視したため
9. 1 件の出願に含まれる要素を増やしたため
10. 日本では侵害訴訟など、権利行使をする機会が少なく、権利取得をする意義が十分に見出せないため
11. その他（　　）

問３．問１で国内出願件数が増加したとお答えになった方（4 又は 5 に○をお付けになった方）にお聞きします。貴社の国内出願が増加した理由を下記の選択肢よりすべて選び、該当する番号に○をお付け下さい。

1. 研究開発費が増加したため
2. 出願件数は企業の技術力を示す指標と見られるため
3. 特許出願に際し、ノルマ制をとっているため
4. 国内市場の拡大が見込まれるため
5. 国内出願を海外出願の基礎とするため
6. 技術標準の確立を目指し、特許を確保する必要があるため
7. クロスライセンスを実施するための特許を確保する必要があるため
8. 防衛特許を取得する必要があるため
9. その他（　　）

問４．問１で審査請求件数が減少したとお答えになった方（1 又は 2 に○をお付けになった方）にお聞きします。貴社の審査請求件数が減少した理由のうち、最も重要なものを下記の選択肢より１つ選び、該当する番号に○をお付け下さい。

1. 先行調査などを充実させることにより特許性のあるものを厳選したため
2. 事業で将来利用するものだけを厳選したため
3. 業績悪化により知財活動費が削減され、それに伴い審査請求件数を抑制したため
4. その他（　　）

問５．問１で国内保有特許件数が減少したとお答えになった方（1 又は 2 に○をお付けになった方）にお聞きします。貴社の保有特許件数が減少した理由のうち、最も重要なものを下記の選択肢より１つ選び、該当する番号に○をお付け下さい。

1. 保有特許の必要性を定期的に評価したため
2. 業績悪化により保有特許の必要性を特別に厳しく評価したため
3. 分社化等の事業の統廃合により保有特許を整理したため
4. その他（　　）

問６．貴社の知財関連予算についてお聞きします。2009 年度の貴社の知財関連予算は 2 年前（2007 年度）と比較してどのように変化しましたか。該当する番号に○をお付け下さい。

1. 減少した
2. ほぼ不変
3. 増加した

問７．問６で知財関連予算が減少したとお答えになった方（１に○をお付けになった方）にお聞きします。貴社の知財関連予算が減少した理由のうち、最も重要なものを下記の選択肢より１つ選び、該当する番号に○をお付け下さい。

1. 業績悪化により企業全体の予算が圧縮されたため
2. 特許の量より質を重視する等、知財戦略を見直したため
3. 分社化、事業の統廃合等により社内の知財管理部門が縮小したため
4. その他（　　）

問８．海外出願に関してお聞きします。2009 年度の貴社の海外出願率は、2 年前（2007 年度）と比較してどのように変化しましたか。該当する番号に○をお付け下さい。

※　$\text{海外出願率} = \dfrac{\text{当該年度の海外出願件数}}{\text{当該年度の国内出願件数} + \text{当該年度の海外出願件数}}$

1. 減少した
2. ほぼ不変
3. 増加した

問９．問８で海外出願率が増加したとお答えになった方（3 に○をお付けになった方）にお聞きします。海外出願率が増加した理由のうち、最も重要なものを下記の選択肢より１つ選び、該当する番号に○をお付け下さい。

1. 自社の海外展開の状況と国内事業の状況を比較して、国内出願の割合が多いと判断したため
2. 米国での出願を最優先に考えたため
3. 中国等の新興国への出願を重視するようになったため
4. 特許庁との海外出願に関する意見交換が契機となったため
5. その他（　　）

問 10．2010 年度の国内および海外出願の増減見込みについて、前年度（２００９年度）との比較でお伺いします。それぞれ該当する番号１つを選び、○をお付けください。

（国内）　１　増加の見込み　２　ほぼ不変の見込み　３　減少の見込み
（海外）　１　増加の見込み　２　ほぼ不変の見込み　３　減少の見込み

ご協力誠にありがとうございました。